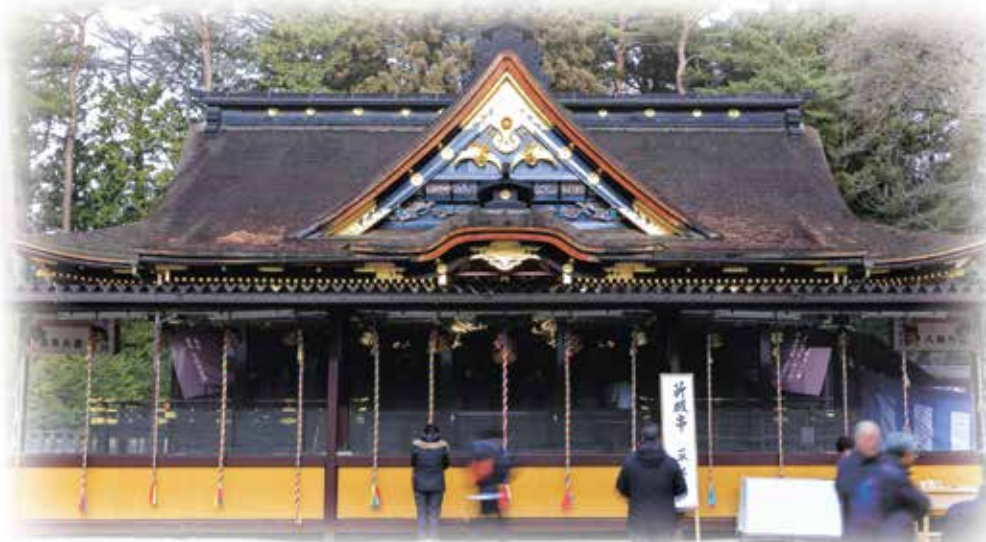


仙台千支の守本尊マップ



慶長12(1607)年造営の社殿(本殿・右の間・拝殿)は、荘厳な桃山様式を今に伝える貴重な建築物として国宝に指定されています。

戌年の守本尊は仙台の何処？



戌年亥年の守護神 大崎八幡宮

仙台の遺産

大崎八幡宮 慶長12(1607)年～
※社殿建立

「仙台的卦体神(けたいがみ)信仰」
古くから、人の一生を守って下さる神様仏様を「守り本尊」として拝む信仰がありました。時代が下ると、十二支と本尊が組み合わされ、江戸時代に庶民にまで広がりました。仙台城下では「卦体神(けたいがみ)」と呼ばれ、神社仏閣と特定の千支が結びついて人々の素朴な信心を集め、今に続いています。



まつたきまつり
仙台・冬の風物詩「松焚祭」

1月14日から15日にかけて、各地で行われる小正月の行事、どんと祭。三百年の歴史を持ち、全国有数の規模で知られるのが、大崎八幡宮の「松焚祭(まつたきまつり)」です。どんと祭は、注連縄、松飾りなどの正月飾りや、前年のお守りや神札などを炊き上げてお返しする行事で、この「御神火」に当たると、心身が清められ、無病息災、家内安全のご利益があるとされて、多くの参拝者で賑わいます。

この御神火をめざし、白鉢巻きと白のさらし姿で、私語を慎むための白和紙をくわえ、鐘と提灯を手に参拝する「裸参り」は、仙台の冬の風物詩ですね。

さて、この大崎八幡宮、戌年、亥年生まれの守護神であり本尊でもあることをご存知ですか？ 本尊と言えば仏様のこと。守護神であり仏様って不思議ですよ。

神様も仏様もひとつのものとして信仰した平安から江戸時代、八幡宮の神様「やわたのかみ」の本地仏(姿を変えた仏様)は阿弥陀如来と考えられていたのです。

昔は方角や時刻も十二支で表しました。戌・亥は北西の方角。伊達政宗公が仙台開府に当たって、安寧と繁栄を願い、戌・亥の方角に「仙台藩総鎮守」として祀ったのが大崎八幡宮。それで、戌年、亥年生まれの守護神は守り本尊となったのです。

風味立つやわらかなお餅で、早春の味わい。

『うぐいすもち』



品質は語る……

白松がモナカ本舗